



関西学院

1889年、アメリカ人宣教師ウォルター・ラッセル・ランバスにより神戸に開校。現在では幼稚園から大学(10学部)・大学院(13研究科)まで擁する総合学園へと成長し、2万人を超える学生・生徒・児童・園児が学んでいます。

■ 西宮上ヶ原キャンパス(兵庫県西宮市)

関西学院大学大学院

(10研究科=神学、文学、社会学、法学、経済学、商学、人間福祉、言語コミュニケーション文化、司法、経営戦略)

関西学院大学(7学部=神、文、社会、法、経済、商、人間福祉。2010年度国際学部開設予定)

関西学院高等部、関西学院中学部

■ 西宮聖和キャンパス(兵庫県西宮市)

関西学院大学大学院(教育学研究科)、関西学院大学(教育学部)、聖和大学、聖和短期大学、聖和幼稚園

■ 神戸三田キャンパス(兵庫県三田市)

関西学院大学大学院(2研究科=総合政策、理工)、関西学院大学(2学部=総合政策、理工)

■ 宝塚キャンパス(兵庫県宝塚市)

関西学院初等部

■ 大阪梅田キャンパス(大阪市北区)

■ 東京丸の内キャンパス(東京都千代田区)

■ 千里国際キャンパス(大阪府箕面市) 2010年度開設(合併)予定

関西学院千里国際中等部、関西学院千里国際高等部

関西学院大阪インターナショナルスクール



西宮上ヶ原キャンパス



神戸三田キャンパス



西宮聖和キャンパス

関西学院 新基本構想

KWANSEI GAKUIN New Strategic Plan 2009-2018

学校法人 関西学院

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
TEL 0798-54-6017 FAX 0798-51-0912(広報室)
<http://www.kwansei.ac.jp>

はじめに

「“Mastery for Service”を体現する世界市民」の育成に向けて

関西学院は2009年に創立120周年を迎えます。その節目の年に、長い歴史の中で共有してきたミッション(使命)とスクールモットーの現代的意味を改めて確認し、2009年度を起点とする「新基本構想」を定めました。

関西学院は、そこに集う人すべてが生涯をかけて「“Mastery for Service”を体現する世界市民」(めざす人間像)となるために研鑽を重ね、そのために大学は「垣根なきラーニングコミュニティ(学びと探究の共同体)」「めざす大学像)となることを目標とします。そして、これらに基づいて、10年間の到達目標である6つの「ビジョン」を掲げました。これらを達成することによって、関西学院はより一層輝きを増し、社会における存在価値を高めてまいります。

今後は新基本構想の実現に向けて、具体化するためのプロセスを随時公表しながら、学院全体で力を合わせて努力を続けてまいります。

関西学院は、学生・生徒・児童・園児やそのご家族、教職員、同窓生、さらには地域社会、産業界、国際社会など多くの人々のなかで息づいています。みなさまには関西学院のミッションへのご理解と、新基本構想の実現に向けてのご支援を心よりお願い申し上げます。



関西学院 理事長 森下 洋一
 院長 Ruth M. Grubel
 関西学院大学学長 杉原 左右一

写真左より、森下洋一、Ruth M. Grubel、杉原左右一

ミッションステートメント

Mission Statement

関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」として、ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見出せるよう導き、思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命とします。

Kwansei Gakuin, as a learning community based on the principles of Christianity, inspires its members to seek their life missions, and cultivates them to be creative and capable world citizens who embody its motto, “Mastery for Service,” by transforming society with compassion and integrity.

スクールモットー
 “Mastery for Service”

School Motto “Mastery for Service”

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”は、「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。

“Mastery for Service,” the school motto of Kwansei Gakuin reflects the ideal for all its members to master their abundant God-given gifts to serve their neighbors, society and the world.

“Mastery for Service”は、C.J.L.ヘーツ第4代院長が1912年に高等学部長に就任した際に提唱したもので、その後、関西学院全体のスクールモットーになりました。

関西学院に受け継がれる志と理想
 創立者W.R.ランバス



W.R.ランバス (1854-1921)
 Walter Russell Lambuth

関西学院の創立者であるアメリカ人宣教師(南メソヂスト監督教会)ウォルター・ラッセル・ランバスは、1854年に両親の赴任先であった上海で生まれました。祖国アメリカで医学と神学を修め、中国に戻って医療活動に携わりながら宣教師として活躍し、1886年に32歳で日本に赴きます。

1889年、牧師養成と青年への全人教育を目的とした男子校の創立を計画し、原田の森(現在の神戸市灘区)に木造校舎を建造して関西学院(くわんせいがくいん)と名付けました。始まりは教師5人と生徒19人の小さな学校でした。

ランバスはわずか4年の日本滞在期間に数々の教会や学校の創立に関わり、大きな足跡を残しました。離日後も、その圧倒的な行動力によって南米、アフリカ、ヨーロッパ、シベリア、中国、朝鮮半島など世界を駆け巡り、伝道活動を続け、特にアフリカへの伝道を人生の目標(ライフミッション)として情熱を傾けました。

ランバス家の故郷ミシシッピ州には、一家の働きを記念する碑が建てられています。そこには、“World Citizen and Christian Apostle to many lands”(世界市民であり、世界各地へのキリストの使徒)という文字が刻まれています。



新基本構想
New Strategic Plan

ミッションステートメント

スクールモットー
“Mastery for Service”

めざす人間像

“Mastery for Service”を
体現する世界市民

めざす大学像

ラーニングコミュニティ
＜垣根なき学びと探究の共同体＞
の実現

ビジョン

1. 「KG学士力」の高い質を保証する
2. 「関学らしい研究」で世界的拠点となる
3. 地域・産業界・国際社会との連携を強化する
4. 多文化が共生する国際性豊かな
キャンパスを実現する
5. 一貫教育と総合学園構想を推進する
6. 進化を加速させるマネジメントを確立する

実現に向けての方策

めざす人間像

Our Ideals for Our Graduates

“Mastery for Service”を体現する世界市民

World Citizens Embodying the spirit of
“Mastery for Service”

世界を視野におさめ、他者への思いやりと社会変
革への気概を持ち、高い識見と倫理観を備えて自
己を確立し、自らの大きな志をもって行動力を発揮
する人

To produce graduates with a global perspective, care for
others and a commitment to social transformation, who have
both clear insight and a strong sense of ethics, enabling them
to go out into the world confident in their ability to achieve
their high ideals



めざす大学像

Our Ideals for the University

ラーニングコミュニティ
＜垣根なき学びと探究の共同体＞の実現

The creation of a community ‘without fences’
for learning and research

関西学院大学は、キリスト教主義に基づく＜垣根な
き学びと探究の共同体＞をめざし、全人的な教育と
創造的な研究により、有能にして心温かい世界市
民を社会に送り出すことを使命とします。

Kwansei Gakuin University aims to be a ‘learning community
without fences’ based on the principles of Christianity,
which, through education encompassing students’ total
personality and creative cutting-edge research, will send out
into the world truly global citizens who are both capable and
caring.

1929年、関西学院はさらなる飛躍をめざして広い校地
を求め、創立の地である神戸・原田の森から西宮上ヶ原キャン
パスに移転しました。周辺に広がる果樹園とキャンパスを
隔てる垣根のない開放的な新天地を、当時の院長、C.J.L.
ベーツは“*We have no fences*”と誇ったといいます。教
職員と学生、学問分野を分かち垣根もなく、大学と社会、国
境という垣根すら意識させないその「ラーニングコミュニテ
ィ」には、新しい社会を創造する気概があふれていました。
いま世界では、グローバル化が急速に進行する一方で、
異なる人種、文化、宗教、民族、国家間に存在する「垣根」
が、摩擦や軋轢を生み続けています。関西学院大学は、キリ
スト教主義に基づき、学生や教職員のすべてが主体的に学
び合う「垣根なきラーニングコミュニティ」を現代に実現し、
高い専門能力と深い人間力をあわせ持ち、他者に対する共
感をもって人類社会の幸福に貢献する意思と能力を持つ
世界市民を育成します。

ビジョン
Our Vision

「新基本構想」を推進するにあたり、10年間の到達目標として6つのビジョンを設定しました。これらのビジョンに基づいて、具体的な施策を展開していきます。

地域・産業界・国際社会との連携を強化する

Strengthening our ties to the local community, business and global society

大学の「第三の使命」である社会貢献は、大学と社会を結ぶ重要な機能です。関西学院大学では、市民・企業・行政・他大学などとの連携を強化し、教育・研究活動の活性化をはかります。さらに、グローバルな課題の解決も視野に入れ、国際機関などと連携した活動もめざします。



「関学らしい研究」で世界的拠点となる

Becoming a world center for research appropriate to Kwansei Gakuin

格差、戦争、環境破壊、災害、貧困、差別、文化摩擦などの地球規模の諸問題の解決を念頭に「関西学院らしい研究」に邁進するとともに、その成果を国際的に発信することで、世界的な研究拠点をめざします。また、若手研究者の育成に向けて大学院教育改革を進め、大学院進学希望者への支援も強化します。



実現に向けての方策

- **研究プログラムコーディネータ機能を強化**
Strengthening the research program coordinating function
- **研究の受発信情報の完備化を実現**
Consolidation of research data collection and dissemination
- **大学院教育の充実**
The enhancement of graduate education

多文化が共生する国際性豊かなキャンパスを実現する

Creating an international multicultural campus

世界各国から多くの優秀な留学生や教職員が集う多文化共生キャンパスを実現するとともに、より多くの学生や教職員に世界で活躍する機会を提供します。

国際化を戦略的に推進する組織を整備し、国際教育研究プログラムの増強、海外協定校や海外拠点の拡充や、英語による学位取得システムの確立、国連をはじめとする国際機関との連携を推進します。

実現に向けての方策

- **世界に開かれた関西学院大学の実現**
Creating a university that is open to the world
- **世界との共生をめざす関西学院大学の実現**
Creating a University that acts in harmony with the world



進化を加速させるマネジメントを確立する

Establishing a system to manage rapid change and evolution

透明性が高く迅速な意思決定を行うための「新たなガバナンスの構築」、健全で実効性のある財政を形成する「強固な財務基盤の確立」、教育・研究の質の向上と活性化をはかる「人事評価制度の確立」によって、信頼性と推進力を持った新しいマネジメント体制を確立します。

「KG学士力」の高い質を保証する

Guaranteeing 'KG Graduates' of the highest quality

関西学院大学の卒業生が備えるべき知識・能力を「KG学士力」として明示し、すべての学生に保証します。

「KG学士力」は、学部を問わずに全学に共通する「共通学士力」と学部ごとの「専門学士力」からなり、正課教育だけでなく、正課外の活動によっても獲得されるものです。その質を高めるため、「教育力」の向上だけでなく、学生同士が学びあう「共育」の気風を醸成するとともに、ICT(情報通信技術)を活用した教育・学習支援の高度化や学生生活支援の強化を推進します。

実現に向けての方策

- **「KG学士力」の明示と全学共通プログラムの推進**
Identifying the qualities expected of a KG graduate, and pursuing a coordinated program covering the whole university
- **教育力と「共育力」の強化**
Enhancing the quality of teaching and pursuing 'mutual learning'
- **「オンリーワンを育てる」学生生活支援の強化**
Strengthening support for student activities, to nurture students' unique individual abilities
- **ICTキャンパスの構築**
Creating an ICT campus



一貫教育と総合学園構想を推進する

Pursuing the ideal of comprehensive and integrated education

「一貫教育」としての関西学院初等部・中部部・高等部・大学は、正課・正課外を合わせた包括的な連携強化を進め、継続校、提携校などを含めて「総合学園構想」の内実化をめざします。また、同窓会との協力関係も強化します。

また、神戸三田キャンパス(KSC)のさらなる活性化をはかります。

